

KASA だより

vol.4

発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課、企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ
協力：特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所

KASAだよりとは、現在加佐で取り組んでいる「加佐地域公共施設まちづくりワークショップ」の様子をお伝える広報誌です♪

1 全体説明&前回の振り返り

今回は鴨田市長をはじめ、鳥取市職員も見学を訪れ、最終回に相応しい賑やかなワークショップになりました。はじめに市長より挨拶がありました。その後、班ごとに、バレンタインデーやホワイトデーの思い出をテーマにアイスブレイクを行い、全体進行役の近野成宏さん（特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所）より「やりたいこと」と、それを実現できそうな「場所」を出し合い「屋内」「屋外」に分けてまとめた前回のワークを振り返ると共に、今回のワークショップの進め方と留意点等についての説明がありました。

【第4回】

会場：加佐公民館
日時：2025年2月16日
参加者：49人
（うちWS参加者31人）



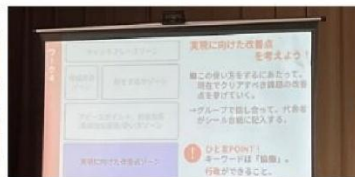
鴨田市長

【第4回ワークショップのテーマ】

公共施設と地域資源の使い方を語る

2 ワークショップ

（WSには市職員と福知山公立大学生も参加）



1. まず、8つのテーマ（趣味系、学習・教育、イベント交流、事業系、自然・体験、健康・運動、防災）に沿って班に分かれました。

2. 次に、テーマごとに分かれた班でこれまでのワークショップで出てきたキーワードなどを踏まえ、キャッチコピーや活用する地域資源を考えました。

3. 地域資源を活用し「何をするか」を決めた後は、アピールポイントや相乗効果、具体的な運用について意見を出し合い、実現に向けた改善点をまとめました。

3 全体共有

キャッチフレーズ

地域資源

何をするか

アピールポイント、相乗効果
実際の運用/使い方

実現に向けた改善点

その他、組み合わせ

左側の枠組みに沿って、各班で作成した模造紙を最後に全体で共有しました。完成した模造紙は、どの班もぎっしりとアイデアで埋まっていました。参加者からは「楽しかった」という感想も多く、4回のワークショップが、これからの加佐地域を前向きに考える有意義な場になったと考えられます。



完成した模造紙の詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。



4 講評

各班からの意見共有後、堤洋樹さん（前橋工科大学准教授）と杉岡秀紀さん（福知山公立大学准教授）より講評がありました。「今回出た案の中には、地域の人たちが協力すればできることがある。これを私から始める公共という。」「面白い場があれば、参加者は増える。自分たちが楽しめることをベースにすると、活動は長続きする。」ということを共有し、閉会しました。



【公共施設マネジメントシンポジウム】

日時：2025年3月20日（木） 14:00~16:00（開場13:30）

会場：赤れんがパーク4号館

シンポジウムでは加佐地域ワークショップの取り組みについても紹介させていただきます。皆様のご参加お待ちしております。電話もしくは右記二次元コードからお申し込みください。

【お問い合わせ 資産マネジメント推進課 0773-66-1045】

